

中津川市の教育方針 よりよいひとりだち

校内の実態

- 落ち着いた学校生活
- 自治的活動の充実
- 教育相談体制の充実
- 職員の親和性協働性
- △学力の伸び悩み
- △不登校生徒の増加
- △職員の経験の浅さ
- △施設の老朽化

めざす校風

かけがえのない一人一人を大切にする学校

合い言葉「生徒がど真ん中」

★学校が楽しい: 90%↑ ★安心できる学校: 90%↑
 ★欠席率5%↓ ★不登校出現率5%↓ ★全欠生徒の減少

学校の教育目標

よくみ よく聞き よく考えて 仲間と共に ねばり強くやりぬく生徒

地域の実態

- 協力的な保護者
- LEBERによる簡素化
- 学校運営協議会の充実と行動力
- 地域行事への参加と学校支援の増加
- △中学生を地域力として活用する仕組み

希望の進路を実現するための
学力を身に付けた生徒

学力UP

★自己効力感
できると感じるものがある 90%↑

確かな学力を育む
授業改善

- ①生徒が主体となって
ねばり強く学ぶ授業の創造
 - ・自己調整学習の充実
 - ・学習のUD化と図書館利用
 - ・深め合う場面の創造
 - ★自ら学習している 90%↑
 - ★わかりやすい授業 90%↑
- ②ICTを駆使して自分に適した学びを進める力の育成
 - ・情報活用能力の育成
 - ・情報モラル教育の推進
 - ★ICT優良校の認定
 - ★タブレットの有効性 90%↑
- ③授業と日常生活をつなげる
家庭学習の創造
 - ・個別最適な家庭学習づくり
 - ・eライブラリの活用
 - ★家庭学習が身に付いている 90%↑
 - ★実力テスト平均 250点↑

めざす生徒像

誰とも折り合いながら
よりよい学校を創造する生徒

社会力UP

★自己有用感
自分は必要とされている 90%↑

社会を生きる人間性を育む
特別活動

- ①生徒会を主体とした
自治的活動の創造
 - ・二人権宣言の活用と多様性理解の涵養
 - ・S2Gs活動の展開
 - ・生徒主体の校風づくり
 - ★二人権宣言達成度 90%↑
 - ★生徒会サミットへの継続的提案
- ②居場所と出場所のある
学年・学級経営
 - ・思いを語る学級活動の創造
 - ・相互に認め合う活動の充実
 - ★仲間と協力して活動 90%↑
- ③学校運営協議会と連携した
ボランティア活動の励行
 - ・生徒会発信による地域貢献意識の啓発
 - ・地域防災を担う意識の高揚
 - ★ボランティア活動参加 60%↑

なりたい自分に向けて諦めず
地道に努力を続ける生徒

自己実現力UP

★自己肯定感
自分にはよいところがある 90%↑

自己指導能力を育む
校内指導体制

- ①生徒理解をもとにした
生徒指導・教育相談体制
 - ・全職員共通指導体制の構築
 - ・SC生安等外部との連携強化
 - ・校内適応指導教室の充実
 - ★熱心な指導 90%↑
- ②自己のよさを理解した
キャリア教育の充実
 - ・「なりたい自分」づくり
 - ・計画的、継続的な進路指導
 - ・宿泊研修、体験活動の充実
 - ★なりたい自分がある 90%↑
 - ★ねばり強く努力 90%↑
- ③未来を生きる心身づくり
のための健康教育の充実
 - ・いのちの教育の確実な実施
 - ・ACPを含めた運動機会の確保
 - ★健康を意識した生活 90%↑
 - ★シャトルラン 全国平均↑

学校経営の土台「職員一人一人の持ち味を活かす」...そのために...

指導の方向性をそろえる

- ・期のねらいを理解する部長会
- ・共通行動を図る職員＆学年会
- ・全員で当たる「チーム二中」

組織で動く

- ・企画＆主任＆教相会の連携
- ・迅速な事案の集約と共有化
- ・機動力のあるケース会議

やりがいを生む

- ・タイムマネジメントによる働き方改革
- ・メンタルケアによる職員理解
- ・OJTによる資質向上

CS

- ・地域学校協働活動の創出
- ・キャリア教育への協力

保護者

- ・制限のない行事参加
- ・学びネットワークによる連携

5校

- ・入学前児童の理解促進
- ・5校での共通歩調

クラブ

- ・部活加入率の保持と連携協力の強化

学校を支えてくださる地域力との連携